

令和4年度 徳島県農林水産基本計画レポート （概要版）



令和5年9月
徳島県農林水産部

1 「しなやかな」とくしまブランドの展開

- 「とくしまブランド推進機構」と連携し、実需者が求める品目に対応する「マーケットイン型」の産地を育成
- 「Turn Table」でのマルシェの通年開催や「徳島ゆかりの飲食店」ネットワークと連携した合同メニューフェアを開催
- 「阿波ふうどスペシャリスト」と連携し、県公式サイトやSNS等を活用して阿波ふうどの魅力を発信



「合同メニューフェア」の料理

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
産地リノベーションを実施した園芸産地における生産額	億円	45	70	64
「Turn Table」の飲食・マルシェ等売上額	億円	2.1	2.5	3.6
「阿波ふうどスペシャリスト」登録数	者	359	540	597

2 選ばれる6次産業化の促進

- 県をはじめ関係機関で構成する「徳島県農山漁村発イノベーションサポートセンター」による相談対応や「地域プランナー」の派遣により、6次産業化に取り組む事業者の課題解決を支援
- 6次産業化商品の販路拡大を図るため、首都圏等における展示商談会への出展を支援
- オープンラボ機能を備えた「六次産業化研究施設」を活用し、農業者等の商品開発を支援



「スーパーマーケットトレードショー」

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
農工商連携等による6次産業化商品開発事業数(累計)	件	352	670	580
戦略的な販路開拓のための展示会・商談会への出展数(累計)	出展	386	620	560
六次産業化研究施設の利用者数(累計)	人	519	1,800	1,568

3 戦略的な海外展開

- コロナ禍で中断していた海外大規模展示会への出展再開やセミナーの開催を通じて、事業者や生産者が実需者に直接PRする取組を支援
- 新たな販売チャネルとして年々市場規模が拡大しているEコマースのサイトにおいて、特設ページやライブコマースによるPRを実施
- 台湾のエージェントを活用した新たな民間事業者との連携により、台北市内にPRスペース「阿波ギャラリー」を開設し、県産材をPR



マレーシア「ハラール牛肉カッピングセミナー」

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
農林水産物等輸出金額	億円	14.2	24.0	集計中
畜産物の海外輸出货量	t	75	120	366
県産材の海外輸出額	百万円	105	200	350

4 移住定住に向けた都市農村交流の推進

- 「とくしま農林漁家民宿」への誘客促進を図るため、経営者のスキルアップや経営者間の連携強化を図る研修を実施
- 地域住民と農山漁村（ふるさと）協働パートナーの協働活動や農泊、地域資源「むらのたから」のPRによる都市と農山漁村の交流を促進



とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
ニューノーマル対応とくしま農林漁家民宿の宿泊者数	人	-	4,800	3,639
農山漁村(ふるさと)協働パートナーの協定数(累計)	協定	71	84	81

1 自然災害や家畜伝染病等への対応

- ・ 危機事象に備え、土地改良施設や農業用ため池、漁港海岸施設の整備や耐震化、緊急輸送道路を補完する農林道の整備を推進
- ・ 大規模災害からの速やかな営農再開を目的とした農業版BCPの実効性向上を図るため、その事前対策である土地改良区BCPの策定を支援
- ・ 山地防災力強化のため、治山施設や森林の計画的な整備に加え、「山地防災ヘルパー」と連携した危険箇所のパトロールを実施
- ・ 家畜伝染病の発生予防対策への支援や、防疫演習等により防疫体制を強化



家畜伝染病防疫演習（豚熱）

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
緊急輸送道路を補完する農林道の整備延長(R元からの累計)	km	1.8	6.8	7.4
土地改良区BCPの策定数(累計)	地区	14	24	24
山地災害の危険性が高い箇所の調査・点検パトロール実施箇所数(累計)	箇所	196	1,080	849

2 強靱な生産基盤の整備

- ・ 一層の収益性の高い農業経営を実現するため、農地の大区画化や汎用化等、生産基盤の整備を実施
- ・ 基幹的水利施設の長寿命化や基幹農道、林内路網の整備により、生産基盤を強化
- ・ 第一種森林管理重点地域（とくしま県版保安林）を指定し、無秩序な開発の防止を通じて森林を適正管理



改修された排水樋門
(喜来中須入江川排水樋門)

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
ほ場の整備面積(R元からの累計)	ha	30	259	174
老朽化対策に着手した基幹的水利施設数(累計)	施設	40	87	70
「とくしま県版保安林」の指定面積(R元からの累計)	ha	16	417	318

3 水田・園芸農業の振興

- ・ 主食用米の高温耐性品種「あきさかり」の認知度向上、消費拡大を図るため、量販店での販促活動等のPR活動を展開
- ・ 果樹農家の経営安定を図るため、優良品種・品目への改植・新植を推進
- ・ 園芸・果樹産地の維持発展のため、農福連携等による労働力確保やスマート技術等を用いた栽培方法の現地実証に取り組み、産地リノベーションを推進



農業散布ドローン

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
高温耐性品種「あきさかり」の作付面積	ha	1,740	2,740	2,720
樹園地の新植・改植面積(累計)	ha	3	15	16
産地リノベーションに向けた課題解決取組件数	件	14	55	45

4 畜産業の振興

- 「阿波尾鶏」の地鶏出荷羽数連続日本一達成の取組を継続するとともに、地理的表示（GI）保護制度に登録
- 自給飼料生産、堆肥の高品質化等の機械導入支援により生産コスト低減や労働生産性向上等、畜種ごとの特性に応じた経営安定化及び生産基盤強化を支援
- 県内唯一の乳業工場の稼働を機に、生乳生産・供給力の向上及び牛乳の消費拡大・定着化を推進



県内大学における牛乳の消費拡大

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
「阿波尾鶏」の地鶏出荷羽数全国順位	位	1	1	1
グローバル化に対応した経営転換モデル数(累計)	モデル	10	20	16
県内乳業工場に仕向けられる生乳割合	%	37	45	53

5 林業・木材産業の振興

- 高性能林業機械の導入や路網整備の推進及び本県の急峻な地形に対応した「主伐生産システム」の構築等を通じて、生産性の向上と県産材の増産を推進
- 伐採後の造林を着実に実施するため、通年植栽が可能な「コンテナ苗」の生産を推進
- 木育とにぎわいの拠点「徳島木のおもちゃ美術館」を通じ、県産木材の利用を啓発



高性能林業機械の導入

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
本県地形に適した「主伐生産システム」の導入数(累計)	セット	4	9	6
コンテナ苗による人工造林面積	ha	114	260	166
徳島木のおもちゃ美術館の開設	-	基本構築策定	推進	推進

6 水産業の振興

- 稚魚の育成場である藻場の保全及び造成を推進するとともに、水産資源の維持増大を図るため、ヒラメ、アワビ類、クルマエビ類等の種苗放流を支援
- 「徳島の活鱧料理味わいキャンペーン」の実施や学校給食の食材に鳴門ワカメを提供するなど、県産水産物のさらなる認知度向上や消費拡大に向けた取組を実施
- 魚類養殖業の成長産業化を図るため、「アメゴ」を「サツキマス」へと育成する資源循環型の「サーモン養殖試験」を実施



徳島の活鱧料理
味わいキャンペーン

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
水産物出荷・流通体制施設等の整備(累計)	箇所	13	18	16
クルマエビ種苗放流尾数(R元からの累計)	万尾	1,920	12,000	8,090
「徳島の水産物キャンペーン」参加店舗数(累計)	店舗	190	400	353

1 スマート農林水産業の実装

- 農林水産3分野の「サイエンスゾーン」を拠点として、高等教育機関及び民間企業と連携し、各機関が有する強みを生かした技術開発と現場実装の取組を実施
- 農薬散布ドローンをはじめとする「スマート技術」について、スマート農業支援サービス組織等への実装を支援



高水温耐性ワカメ品種

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
スマート化技術導入経営体数(累計)	経営体	33	100	80
スマート農業支援サービス組織数(累計)	組織	1	10	11
新技術の開発に向けた大学・企業との共同研究数(累計)	件	16	82	75

2 農業・畜産業の多様な人材育成・確保

- 農家の法人化に向けて、関係機関と連携した相談体制の構築、セミナーの開催、専門家派遣等、経営力強化のための支援を実施
- 県内外の農業系大学生等をインターンシップとして受け入れ、現地だけでなく、オンラインで農業を体感することにより、本県での就農意欲を醸成
- 女性・アクティブシニアなどの多様な担い手の就業・定着を支援するためのリカレント教育を実施



施設園芸アカデミー

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
農業法人数(累計)	経営体	303	325	319
農業リカレント教育修了者数(累計)	人	511	1,270	1,673
農業系大学生等を対象としたオンラインと直接体験を組み合わせたインターンシップ参加者数(年間)	人	219	400	377

3 林業・木材産業の多様な人材育成・確保

- 「とくしま林業アカデミー」において、現場で即戦力となる人材を育成したほか、林業体験林「フォレストキャンパス」を高校生等の林業体験の場として活用
- 林業における各種作業に必要な資格の取得や伐採技術の習得、高性能林業機械の操作など、ステップアップ方式による人材育成研修を実施し、「林業プロフェッショナル」を育成



とくしま林業アカデミー

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
新規林業就業者数(累計)	人	218	368	340
「とくしま林業アカデミー」の修了者数(累計)	人	52	130	103
大学等の体験林「フォレストキャンパス」の利用者数(累計)	人	161	1,100	1,365
林業プロフェッショナル数(累計)	人	344	400	425

4 水産業の多様な人材育成・確保

- 「とくしま漁業アカデミー」において、即戦力となる浜の担い手を育成・確保
- 漁家子弟のアカデミー研修生に対し、本県独自の給付金を交付
- 「漁協職員」を対象に、消費税インボイス制度等に関する研修会を実施し、新たな知識・技術の習得を支援

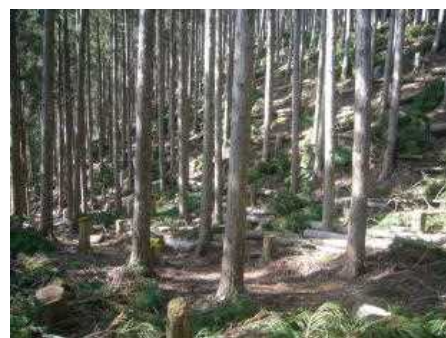


とくしま漁業アカデミー

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
「とくしま漁業アカデミー」の修了者数(累計)	人	15	35	27
水産業リカレント教育修了者数(累計)	人	31	180	190

1 地球温暖化対策（適応・緩和）

- ・ 熱帯性果樹の栽培技術の開発及び高温耐性品種等の普及の取組を実施
- ・ 地球温暖化防止に貢献する森林管理を適正に行うため、公有林化や森林境界の明確化を推進
- ・ 規模拡大を図る畜産農家に対し、堆肥調整機械・施設の導入を支援するとともに、環境対策について指導を実施



森林整備（本数調整伐）

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
熱帯性果樹の栽培実証経営体数(累計)	経営体	3	13	11
森林境界明確化の実施率(累計)	%	48	51	53
堆肥の特殊肥料への届出件数	件	180	195	199

2 鳥獣による被害の防止

- ・ 狩猟の知識、実践的な捕獲技術を学ぶ「とくしまハンティングスクール」を実施し、次世代狩猟者を育成
- ・ 指定管理鳥獣捕獲等事業において、適正管理計画に基づき、関係機関と連携して個体数管理（捕獲）を実施
- ・ 「阿波地美栄まつり」や「阿波地美栄×狩猟フェスタ」の開催を通じて、県産ジビエの消費拡大や販路開拓を実施



阿波地美栄×狩猟フェスタ

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
「40歳未満」の狩猟免許取得者数(累計)	人	363	410	454
指定管理鳥獣捕獲等事業の実施地区数	地区	7	8	8
「阿波地美栄」取扱店舗数(実数)	店舗	43	64	56

3 食育・木育と地産地消の推進

- ・ 食育の更なる推進を図るため、「みんなが健康！県産食材料理レシピコンクール」を開催し、若者をはじめとして、県民の食育・地産地消に対する理解向上や気運を醸成
- ・ 県内小学校における「花育授業」のほか、県産花きを用いたフラワーアレンジメント体験教室等を開催
- ・ 「徳島木のおもちゃ美術館」において、「おもちゃ学芸員」が県産材の魅力や徳島ならではの木の文化を発信

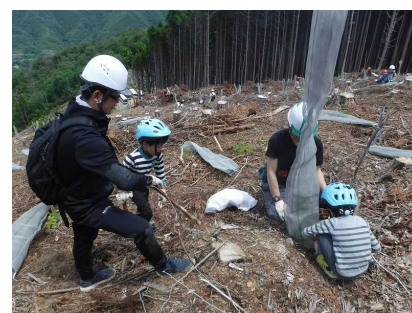


みんなが健康！
県産食材料理レシピコンクール

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
ジュニア・若手食育リーダー数	人	264	500	482
県産食材供給量(学校給食、社員食堂、福祉施設給食等)	万円	2,513	3,000	2,749
「主食・主菜・副菜」を基本とするなど食事のバランスに配慮した食生活を実践している人の割合	%	59.4	70.0	79.5

4 地域で育む農山漁村づくり

- ・ 農業農村整備事業の実施に当たり、自然環境調査に基づく環境に配慮した事業計画を作成
- ・ 県内小学校において、田んぼや農業用施設の持つ多面的機能を学ぶ出前授業を実施
- ・ NPOや森林ボランティア団体等による県民参加型の森づくり活動を支援



県民参加の森林づくり
(獣害防護資材設置)

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
自然環境調査に基づく事業計画策定地区数(累計)	地区	66	70	76
田んぼの学校等の環境学習の開催日数(累計)	日	34	64	52
カーボン・オフセットに基づく森づくり企業・団体数(累計)	企業・団体	158	170	167

5 安全・安心な食料の安定的供給

- ・ 「エコファーマー」や「有機JAS」の認証、有機物資源の循環利用による土づくりや化学肥料・化学合成農薬の使用を低減する技術の普及により、環境に配慮した農業を推進
- ・ 安全・安心で持続性の高い農産物の需要拡大に対応するため、「とくしま安²GAP農産物認証」や更に高い水準のGAP認証取得を支援
- ・ 安全・安心な県産畜産物を提供するため、飼養衛生管理基準に基づく衛生管理水準の向上を図るとともに、「JGAP畜産」、「農場HACCP」の認証取得を支援



エコファーマー
マーク



有機JASマーク



「とくしま安²GAP農産物
優秀認定」マーク

行動目標	単位	基準値(R元)	目標値(R6)	実績値(R4)
有機・特別栽培面積	ha	166	204	225
国際水準GAPの認定件数(累計)	件	14	24	36
JGAP畜産・農場HACCP認証等取得件数(累計)	件	12	17	15